

2021(令和3)年度 事業報告書

【1】事業の状況

2021年度事業計画に基づき、各事業を以下のとおり実施した。

なお、新型コロナウイルス（Covid-19）の感染拡大による行政の対策措置等（感染拡大防止のためのイベントの制限や海外演奏家の入国禁止・渡航制限、国内移動制限等）により、2021年度の全ての事業活動に影響を受けた。

1. 意欲的な音楽活動に対する助成（オーケストラ助成事業）

2020年度に引き続き、当財団がオーケストラ助成を予定した演奏会が、新型コロナウイルス対策関連で延期・中止等の判断を余儀なくした場合において、「新型コロナウイルス対策によるイベント自粛要請等に対するオーケストラ助成の対応について（運用内規）」に基づき、延期に対する助成額の翌年度繰り越し、および中止等となった場合に予定助成額の半額を上限とした助成を実施することを継続中である。

（1）2021年度オーケストラ助成の実施（公演実施助成分）

国内プロオーケストラが行う意欲的な公演 23 企画に対し、総額 19,000 千円の助成を実施した。

【アフィニス エンブレム】（助成実績 3 企画 9,000 千円）

「音楽文化の担い手としてのプロオーケストラが主催する、わが国ならびに各楽団が活動の重点を置いている地域にとって意義がある企画」

【アフィニス エチケット】（助成実績 20 企画 10,000 千円）

「楽団としての成長、発展を目指して企画された意欲的な公演」

（2）新型コロナウイルス対策等による中止、延期、企画変更、無観客演奏会への助成継続

新型コロナウイルス感染・拡大防止によるイベント自粛要請に伴い、中止、延期、企画変更、無観客演奏会の実施を余儀なくされたエンブレム・エチケット助成公演に対し、助成を継続する方針を決定し、運用を行なった。

2020年度から延期となり実施した企画 助成実績 4 企画 7,000 千円

2021年度に企画変更、中止等となった企画 助成実績 8 企画 6,650 千円

2022年度に延期予定となった企画 助成予定 1 企画 3,000 千円

(3) 2022年度オーケストラ助成対象企画の決定

国内プロオーケストラが行う意欲的な公演 31 企画に対し、総額 41,000 千円の助成を行う計画を決定した。

【アフィニス エンブレム】 11 企画 31,000 千円

【アフィニス エチケット】 20 企画 10,000 千円

(4) オーケストラに対する楽器購入助成

2021 年度実績なし。

なお当該事業については、第 37 回理事会にて事業の廃止を決定した。

2. 音楽家の研鑽に対する助成

(1) 「アフィニス・セミナー&音楽会 2021Nagaoka (第 33 回)」の開催

音楽監督並びに海外演奏家の渡航規制・行動規制等により、オンライン・セミナーの収録及びおよび国内参加者だけによる長岡市での室内楽演奏会の開催を中心とした「アフィニス・セミナー&音楽会 2021 Nagaoka」(以下「セミナー&音楽会」)を企画していたが、「セミナー&音楽会の開催判断について」に基づき、国内参加者の国内移動を取り止め、オンライン・セミナーの様子および室内楽演奏会の収録・上映に切り替え、開催した。また、財団公式 YouTube において、期間限定配信を行なった。

音楽祭開催期間中、長岡実行委員会主催により、現地の合唱団や演奏家によるコンサートなどを実施した。またカナダ・オタワと長岡市をオンラインで結んだ企画「川崎監督に質問!」では、日本初演の「Kagura Fantasy (作曲:Alice Ho)」が演奏され、市民との交流が行われた。

(2) 「アフィニス・アンサンブル・セレクション (AES)」の実施

2021 年度より、コロナ感染拡大・まん延防止の観点から自主公演助成+主催公演型に事業内容を変更した。

12 件の応募のうち 7 件を採択し、約 438 千円の助成を行った。

(3) プロオーケストラ所属楽団員に対する海外研修助成の実施

2020 年度海外研修員の本山耀佑氏(都響/コントラバス)は、2021 年 4 月に渡独・研修開始し、2022 年 3 月 31 日に修了している。

なお 2022 年度海外研修について、渡航規制や世界情勢を勘案し、募集実施を見合わせた。

3. 芸術文化に関する調査研究

2021 年度実績なし。